

留学経験者にインタビュー

みなさんは留学の経験はありますか？留学は学生にとってあこがれの経験ですよね。今回は、留学経験のある学生さんにインタビューをさせていただきました！なぜその留学先を選んだのか、留学先での出来事などいろいろなことをインタビューをしたので留学を考えている人はぜひ参考にしてみてください！



しの みやかな こ
創造工学部 4 年 四宮奏子さん

- 留学先：タイ（チェンマイ）
- 留学期間：2024 年 11 月～2025 年 3 月末



留学を考えたきっかけは？

大学 2 年生の時、タイにあるシラパコーン大学のサマーコースに参加したことがきっかけです。1 週間タイに行ったことで、タイの人々の温かさや町の雰囲気に魅了され、タイへ留学に行きたいと思いました。

留学前の準備で何かしたことは？

英語力を身につけるためにグローバルカフェで開講されている講義を受講しました。

留学先での 1 日の生活を教えてください！

平日は大学へ行って授業を受け、授業後は友達とカフェで課題をしていました。休日は、友人たちと音楽フェスに行ったりカフェ巡りをしたりしてタイでの生活を満喫していました。

印象に残っている出来事は？

みんなで餃子パーティーをしたことです。みんなで作って一緒に食べる餃子はとても美味しかったです。

今後の目標は？

タイへ留学したことで行動力が身についたため、就職してからも様々な国へ行きたいと思っています。また、語学力も身につけていきたいと思っています。

留学を考えている学生へメッセージ

すべては体力！体力があるうちに海外へ行くことをおすすめします！迷っているなら絶対に行くべきです！是非、あなたもチャレンジしてみてください。

タイ留学を満喫！



香川大学

KADAIGEST
2025 年秋発行香川大学広報室
kouhou-h@kagawa-u.ac.jp香川大学HP
https://www.kagawa-u.ac.jp/

香川大学

KADAIGEST

2025
秋号

AUTUMN

広報学生スタッフが企画・編集・デザインをしています。

読書の秋

今回は図書館の人気本などを紹介していこうと思います。読書には知識や思考力の向上はもちろん、ストレス軽減やリラックス効果があります。

公式 TOEIC Listening & Reading 問題集

TOEIC の公式問題集です。ここでは他の TOEIC 問題集にはない特徴を紹介します。まず、難易度が TOEIC 本番と同じです。本番の感覚をつかむのに便利と言えます。また、リスニングのナレーターも本番と同じです。TOEIC は四カ国のナレーターがいて、訛りにより聞きやすさが異なるため、苦手な話し方に慣れる練習ができます。

香川大学図書館で
香大生に一番
借りられた本
(2025/4 月～10 月)



オススメ

図書館スタッフが
オススメする本

図書館戦争

アニメ化
映画化

近未来の日本を舞台に、「表現の自由」を守るために戦う図書館員達の姿を描く物語です。法律によって検閲が強化された社会で、本の自由を守るために設立された「図書隊」が活躍。主人公の笠原郁（かさはら いく）は、憧れの図書隊員を追って、図書特殊部隊に入隊。厳しい訓練や戦い、そして恋愛を通じて成長していく姿が描かれます。アクションや恋愛、言論の自由や検閲といった社会的テーマも含んだ作品です。

オススメ

広報
学生スタッフが
オススメする本

博士の愛した数式

映画化



記憶が 80 分しかもたない数学者の博士と、彼を世話する家政婦、そしてその息子との交流を描いた物語。博士は事故の後遺症で毎朝家政婦の顔を忘れてしまいます。しかし、彼は数学に対して深い愛情と鋭い洞察力を持っており、日常の出来事や人との関係を数学的な美しさを通して理解しようとします。家政婦とその 10 歳の息子は、次第に博士とまるで家族のような不思議で温かい時間を過ごしていく。数学の知識がなくても楽しめる一冊です。

Recommended Books





現在は院生1名、4年生11名、3年生12名、2年生18名、1年生18名の計60名で活動しています。



直島を拠点に活動！

VOICE

直島地域活性化プロジェクト

～挑戦を繋ぐ、20年目の今～

私たち直島地域活性化プロジェクトは、直島を拠点に活動している香川大学の学生プロジェクトです。2005年に発足した本プロジェクトは今年で20周年を迎えます。

私たちの主な活動は、直島でのカフェ経営です。私たちが経営する『和cafeぐう』は、当時、観光客の増加にともない休憩場所や飲食店が不足していたことを背景に始まりました。現在も学生が毎週末に交代で営業しています。料理の仕込みや提供、お金の管理や新メニューの開発など、すべて学生が主体となって活動しています。今年は瀬戸内国際芸術祭の開催年でもあり、『和cafeぐう』には例年以上に多くの観光客にお越しいただいています。

私たちは、地域に根差した取り組みと観光客に向けた活動の両方を大切に、島民と観光客をつなぐ「橋渡し」のような存在を目指して活動しています。地域に根差した活動のひとつが、直島の小学生を対象とした防災教育です。出前授業やフィールドワークを通じて、児童とプロジェクトメンバー双方の防災意識の向上を

図っています。フィールドワークでは、児童が登下校で利用している通学路を実際に歩きながら、危険箇所の確認を行いました。この活動の成果物として、発見した危険箇所を視覚的に分かりやすくまとめた「防災マップ」を作成しました。この防災マップは、直島小学校に加え、直島町役場などの地域施設にも設置されており、地域全体の防災意識向上に役立てられています。

一方、観光客向けの取り組みとして、直島の観光ガイドを実施しています。観光客に直島の魅力を直接伝えられるだけでなく、メンバーにとっても観光客との貴重なコミュニケーションの機会となっています。

さらに昨年度からの新たな取り組みとして、直島の夜間の観光を盛り上げるために、「竹あかり」のライトアップ展示を実施しました。直島町役場や香川大学学生プロジェクト「たどつまちLabo」のご協力のもと、島内で伐採した竹を使い、竹あかりを

制作・展示しました。初めての試みでしたが、島民や観光客など多くの方から見に来ていただきました。

今後も私たち直島地域活性化プロジェクトは、これまでの20年の歩みを土台にしながら、「学生だからこそできる地域との関わり方」を大切に、直島の魅力を多くの人々に届けていきます。地域のみならず訪れる観光客のみならず、より身近で親しみのある存在であり続けられるよう、これからも挑戦を続けてまいります。

経済学部3年
則包 那琉
Norikane Naru
香川県立
観音寺第一高等学校出身



カフェ経営 ～和cafeぐう～



『和cafeぐう』は古民家を活用したカフェです

ぜひ
お越しください！



毎週末学生が交代で営業を行っています

～おすすめメニュー～



看板メニュー
「瀬戸内いりこの炊き込みご飯」

定番のデザート
「和パフェぐう」

防災教育 ～地域に根差した活動～



実際に作成した防災マップ

フィールドワークで通学路の
危険箇所の確認を行いました！



直島小学校の4年生に向けた防災
出前授業の様子

「竹あかり」ライトアップ展示 ～新たな夜の観光資源～



「たどつまちLabo」と共同で実施した竹あかりの
ライトアップ



直島の宮浦港で竹あかりのライトアップを実施したときの様子